

# 山 旅

会報 No. 299

好山好山旅会

H. 31. 1



石割山から見る富士山

## 平成31年2月例会山行計画

第一例会

2月9日(土)

御坂

足和田山

担当者 宮崎

第二例会

2月16日(土)

三浦半島

三浦富士～武山

担当者 中原

## 新年のご挨拶

会長 白井 裕

明けましておめでとうございます。

昨年、長い間40名台で推移していた当会の会員数は最年長の村上さん（85歳）をはじめ12名の会員の退会により33名（2018年12月末現在）になりました。

昨年9月の役員会において、会員の高齢化（平均年齢67歳）と減少に対し、会としてどのような対応して行くのか意見交換を行いました。会員がさらに減少し、会の運営・維持が困難と判断する時期が来るまでは現在の延長上で可能な範囲での活動を継続していくのが適当ではないかとの考えが示され、出席者の間では賛同が得られました。この課題については、今後も役員会や総会での継続的な議論を続ける必要がありますので、ご意見をお寄せくださるようお願い致します。

2009年、10年に1000万人を超えていた登山人口は、東日本大震災後700万人前後に減っていますが、山岳遭難者は増え続け2017年は過去最多で10年前の約2倍となっています。幸い昨年も会山行では事故が無く、会の創設以来遭難者ゼロの記録が続いているのは大変喜ばしい事です。

会員の皆さんの体力・身体機能は一般の人達に比べ高いレベルにあるとは言え、齢を重ねていけば少しずつ低下して行くことは防ぎようがありません。ですから、万が一への備えはこれまで以上に気を遣い、日帰り山行であっても十分な装備（非常食、防寒、ヘッドランプ、薬品、GPS（スマホアプリ利用）など）と余裕のあるコースタイム設定（日没2時間前には下山可能な）が必要です。

また日頃からの健康管理（年に1度は健康診断を受ける）、栄養管理、トレーニングなど、これからも長い間山歩きを楽しめるよう今年もより一層の健康維持に努めて参りましょう。

## 《 奥武蔵 子の権現～秩父御嶽神社 》

11月第三例会

11月25日（日） 晴

参加者 中原(L)、小野、高橋、吉田、清水、川端、成田、池田、木村、小淵、板橋、太島  
計12名

—中原 記—

西吾野駅集合後、舗装道路、林道を小床集落まで歩く。集落の方々が林道等の整備をして下さる中、挨拶をしながら通る。林道の終点に静之神社があり、そこから山道となる。沢沿いの道は、次第に尾根への登りとなり天寺十二丁目石、柿の木峠を経て、子の権現に通じる車道に飛び出す。柿の木峠を過ぎてすぐ、後半に歩く秩父御嶽神社への入り口があるが、わかっているつもりでも見逃してしまうので要注意である。

子の権現へのお参りを済ませ、普段は立ち寄ることの少ない奥の院にも登ってみるが、残念ながらスカイツリーは霞んで見えなかった。二本杉のある参道まで戻り、阿字山園地にて昼食をとる。

昼食後、元来た道を前記の秩父御嶽神社への入り口まで戻る。ここからは、破線の道となる。道はしっかりしているものの、朽ちかけた道標や作業道が入り組んでいて、現在地を確認しながら進む。10月に下見に来た時は、今秋の台風などの影響で踏み跡が薄れ、また林業関係者のピンクのテープに惑わされて随分迷った。下見で迷った場所を地図で確認しながら歩くのも、また別の楽しみがある。

いくつかの高低を経て、小床峠、吉田山に近づくと、秩父御嶽神社、東郷神社の紅葉まつりの太鼓の音が賑やかに聞こえてくる。吉田山から最後の尾根道を辿り、秩父御嶽神社の奥宮の裏手に至る。奥宮には沢山のお参りの人がいた。300余段の急な階段あるいは脇の道、それぞれを選択して東郷神社の広場まで下る。広場は沢山の出店や太鼓演奏などで賑わっていた。紅葉は午後の日差しを浴びてとても綺麗だった。

名残惜しい気持ちを残して、おまつり期間中運行されている吾野駅への無料シャトルバスに乗って、予定より早めに帰宅の途についた。

吾野周辺は何度も訪れているが、紅葉の時期に行ったことはなかった。子の権現から人の少ない道を経て最後、紅葉真っ盛りの神社にたどり着き、秋の一日をゆったり過ごすことができた。

☆コースタイム

西吾野駅 9:25～静之神社手前 9:55～十二丁目石 10:10～柿の木峠 10:35～子の権現 10:55～11:45 秩父御嶽神社への分岐 12:00～小床峠 12:40～吉田山 13:15～秩父御嶽神社奥宮 13:40～東郷神社 13:50～（シャトルバス）～吾野駅

☆費用

（池袋起点）池袋～西吾野 630円（片道）

## 《 中央線 矢の音 》

12月第一例会

12月2日(日) 曇り

参加者 板橋(L)、小野、原田、木村 計4名

—板橋 記—

矢ノ音までの上りは思いのほか紅葉が綺麗だった。下りの見どころは展望台からの相模湖の眺め。ガイドブックに載っていないコースなので道案内をします。

藤野駅改札口を線路沿いに左へ。藤野中学校まで行き右の小さな坂を下る。車道にでたら左折。吉野郵便局を左折し10分、右の高速道路の小さなトンネルをくぐる。子の入から山道。左から来た林道と合流。矢ノ音へ450mの小さな標識を右へ。

矢ノ音山頂、切り株の椅子に座って昼食。明王峠方面に10分、与瀬神社の標識を右に下る。孫山経由、相模湖の見える展望台へ。所要時間4時間35分

静かで秋の紅葉と春の新緑が綺麗なコースです。

☆コースタイム

藤野駅 10:00～吉野郵便局 10:20～10:40 高速道路の下のトンネルをくぐる 10:50～

10:55 子の入 11:00～11:40 林道と合流 11:45～矢ノ音へ450mの標識 12:05～

12:20 矢ノ音 12:40～与瀬神社の標識を右に下る 12:50～孫山 13:25～

13:50 相模湖の見える展望台 13:55～14:15 与瀬神社 14:20～14:35 相模湖駅

☆費用 新宿～藤野 972円

## 《 納会山行 霞丘陵～岩蔵温泉 》

12月第二例会

12月9日(日) 曇り時々晴

参加者 木村(L)、高柳、小野、高橋、吉田、清水、白井、原田、鈴木、成田、池田、板橋、板倉、豊島、宮崎、久保田 計16名

—木村 記—

今シーズン一番の寒気ながらもまずまずのハイキング日和のもと、15名の参加者が集合し、計画から20分遅れて東青梅駅を出発した。吹上しょうぶ園入口で待っていた高橋さんと合流して塩船観音寺まで車道を歩く。

塩船観音寺は、1300年以上前、大化年間の創建と伝えられる真言宗醍醐派の別格本山で、ツツジの名所でもある。本堂、阿弥陀堂、仁王門は国の重要文化財に指定されており、歴史を感じさせる。本堂の奥の高台に近年に建てられた大きな観音像があり、この観音像の裏からハイキングコースがスタートしている。

霞丘陵とも呼ばれるハイキングコースは、ゴルフ場に隣接する尾根道で雰囲気が良い。今年暖冬のせいか所々に季節外れのツツジが咲いていた。このハイキングコースが終わると立正佼成会の敷地に入り、舗装された桜並木のコースになる。この桜並木に入っすぐの所

に皇帝ダリアが咲いていた。舗装路のハイキングコースが終わると車道に出合う。その車道出合が笹仁田峠であり、峠から林道に入った所で小休止した。

林道をしばらく登ると大きな広場があり、そこから最高点のピークに登ることができる。このあたりが七国峠である。七国峠からは平坦な登山道が続き、単調な風景に飽きた頃、富士見ポイントの標識があった。1か月前の下見の時には見えなかったが、今回はラッキーにも富士山を見ることができた。そこから暫く歩くと岩蔵温泉への下りが始まる。登山道を下り始めると、スズキジムニーが木に当たって動けず、若い運転手がジャッキでその車を持ち上げようとしているのに出会った。聞いてみると七国峠から降りてきたという。幅が狭く段差もある登山道を車で降りる無鉄砲さに唖然とした。

車道に降りると10分程で納会会場の岩蔵温泉司翠館に到着した。

☆コースタイム

東青梅 8:55～9:30 塩船観音 9:50～笹仁田峠 10:30～10:45 七国広場 10:50～11:40 岩蔵温泉

☆費用

電車代 新宿～東青梅 片道 712円 (ICカード)

宴会費(入浴料・東青梅までの送迎込) 4,000円

#### < 平成31年度会費納入のお願い >

まだ会費を納入されていない会員の方は平成31年2月末までに納入していただきますようお願いいたします。

##### 1) 会費

4,800円です。但し、平成31年4月1日～翌年の3月31日迄

##### 2) スポーツ安全保険

スポーツ安全保険の保険料は年齢に拘わらず一律年間1,200円とします。

65歳未満の保険料は本来1,850円のところ、差額の650円は当会が補てんします。

##### 3) 平成31年度分の納入額は以下のとおりです。

振込金額：会費4,800円＋スポーツ安全保険1,200円＝計6,000円

振込方法：郵便振込（振込用紙は各自郵便局で入手してください）

ゆうちょ銀行 加入者：コウザンコウヤマタビカイ

記号：10030 口座番号：32588101

振込期限：平成31年2月末

振込先、記号、口座番号等をしっかりと確認して記載間違いのないようにお願いします。

#### < 役員会のお知らせ >

平成31年3月10日午前中にIKE-Biz第一会議室において役員会を開催します。

山旅 No.299 平成31年1月1日発行 発行者 白井 裕 編集者 木村 成雄  
発行所 埼玉県所沢市寿町 23-2 グレーシアタワーズ所沢 T-2005 白井方 好山好山旅会  
WebSite <http://kozanko.com/>